

令和5年度第2回草加市健康づくり審議会会議録

1 開催日時

令和6年2月7日（水）午後2時から3時30分まで

2 開催場所

草加市役所第二庁舎4B会議室

3 出席者の氏名

- (1) 委員 虎溪 則孝委員（会長）、森川 房一委員（副会長）、浅古 充委員、志村 玲子委員、鈴木 貴子委員、吉井 清委員、石塚 千佳子委員、依田 珠江委員、浅井 宏美委員、元吉 慧護 委員
- (2) 事務局 坂田健康福祉部長、今野健康福祉部副部長、赤澤健康福祉副部長、池田健康づくり課長、小林健康づくり課長補佐、山崎健康づくり課主査、中井健康づくり課主任

4 会議の次第

- (1) 開 会
- (2) 議 事
 - ① 市民健康意識調査の結果について [資料1] [資料2]
 - ② 次期「そうか みんなで 健康づくり計画」の策定について [資料3]
- (3) 閉 会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者数

なし

7 審議の内容

- (1) 会議録の署名委員として志村委員、鈴木委員を指名した。
- (2) 事務局から、資料1”次期「そうか みんなで 健康づくり計画」策定に向けた市民健康意識調査の概要”及び資料2”市民健康意識調査の結果（抜粋）”、資料2 補足資料”前回調査との比較について”により市民健康意識調査の結果を報告したあと、資料3”次期「そうか みんなで 健康づくり計画」策定につて”を説明した。

8 主な意見

- ・ がん検診を受けない理由の調査結果から、市のがん検診事業についてより周知を要することが伺える。
- ・ 草加市が実施する個別方式のがん検診について、高齢者等へ配慮し、また受診率向上のために、医療機関へ出向く負担をなるべく軽減する受診方法を検討してはどうか。
- ・ 学生は、運動について欲求があるも、草加市内に個人で気軽に使える運動施設が少なく感じる。充実すべき健康増進の取組の上位にも挙がっているとおり、運動施設について気楽に運動ができる環境整備が行われるといい。
- ・ 「健康に関する情報」を得ることや「ICTを活用する」以前に、高齢者においては体が動かない、外出をためらう等の日常生活における課題があるため、その対処も必要。
- ・ コロナ禍は健康を見直す機会となった人もいるが、調査結果と同様メンタル面への影響を感じる。影響の経過を追うことは重要と考えられるので、次回調査においても同様の設問を続けてほしい。
- ・ 若い女性の健康問題は将来に関わってくる場合もあるため、きちんとフォローされているかどうか重要。
- ・ 女性特有の健康問題について、行政等の相談窓口がより充実するとよい。
- ・ 忙しく食生活への関心が持てない人は多いと思うが、お子さんが成長し乳幼児健診等の機会がなくなった世代に対しても何かしらの啓発機会があるとよい。
- ・ 子どものスクリーンタイムの増加と睡眠時間の減少について子どもたちに接していても感じ、その相関性も感じている。子どもの今後に影響がでる前に、家庭でのルールづくり等の普及により適切な生活が望まれる。
- ・ 市が実施している成人歯科健診の実績を考慮すると、歯科健診の受診状況結果は、実際の受診率よりも低いのではないかと。調査結果は有効回収率の低さが影響していると考えられるため、次回調査を実施する場合は設問を減らす等の工夫が必要ではないか。
- ・ 特定健診と歯科健診を同時に受けられる方策を実現してほしい。
- ・ 生きがいは日常生活やボランティア活動等からも感じることができる。また、そのためには健康診断を受け健康管理を怠らないことが必要だと考える。
- ・ 年齢を重ねた世代の悩みごとの相談状況の結果については、ライフステージの変化も踏まえた対応や相談機関の周知などのアプローチの必要性を感じる。
- ・ 児童・生徒における悩みごとに関する対策としては、埼玉県も力を入れているヤングケアラーも視野に入れて取り組んでほしい。
- ・ 飲酒については頻度と量両方を考慮して現状を図る方法が望ましい。

9 議事の概要

詳細な会議録は、市役所情報コーナーで公開する。